

## ② プラスチック問題

十九世紀に開発されてから百年以上がたち、今や世界で年間約四億トンも生産されているプラスチック。その内約一万四千トンが包装資材・容器等で、最も多く作られています。これらは便利である一方、すぐ使い捨てられゴミとなります。そして、最も問題なのが、そのゴミの内十四%が焼却、四十%が埋め立て、三十二%が流出しているということ。焼却すれば二酸化炭素が出て地球温暖化につながり、埋め立てれば分解されずそのまま残り流出すれば海洋プラスチックとなり生態形に影響を及ぼしてしまいます。これらを解決するためには、リサイクル推進だけでなく、そもそもの使用量を減らすリデュースを進めていくことが重要だと、私は考えます。

スーパーを例に見てみましょう。野菜や肉・魚類は必ずプラスチック容器に入れられ、お菓子等はプラスチック包装された上でさらにプラスチック袋に入っています。これらは本当に必要でしょうか。お客様が持参した容器に入れれば良いと思

ます。このような買い物ができる、いわゆる  
計り売り形式のお店は、世界でも増えていま  
す。日本でも増えてほしいと思いました。  
しかし、長く保存する食品等、どうしても  
プラスチックを用いなければならないものもあ  
るでしょう。それには、自然界で分解される  
生分解性プラスチックを利用したり、普通の  
プラスチックを使うにしてもリサイクルする  
ようにしたりと、環境に良い方法を選んだら  
いいと思います。リサイクルする場合は、ゴ  
ミを焼却してエネルギー利用するのではなく、  
再資源化して利用できるように、分別しやす  
い製品を作ることも重要だと考えました。  
プラスチック問題は誰か一人の努力ではど  
うにもなりません。国連が作成したSDGs  
に「つくる責任・使う責任」とあるように、  
生産者・消費者両方が取り組むことが、持続  
可能な資源の循環につながると思います。私  
も、日々自分の暮らしを見直しながら、生活  
していきたいです。